

エチュード Op.60-1

ソル

エチュード Op.60-2

ソル

*最後の3小節は“二声部”になっています。基本的に上声はm.lの交互を使い、
下声はpを使います。
このような長い曲では、フレーズ（弧線/フレーズングスラー）をよくわかった上で
練習します。一般的なギター譜にはないので、自分でイメージ（記入して）すること
がレベルアップにつながります。